

Q1.q2

「行動は言葉よりも雄弁である」という格言は、時代を越えて人々の心に響き続けてきた。それは普遍の真理を示しているからにはかならない。言葉は人を鼓舞することができるが、行動に移されなければすぐに消え去ってしまう。人類の歴史も、私たちの日常の経験も、意図に実体を与えるのは行動だけであることを証明している。

私が子どもの頃、よく母に「あとで部屋を片づけるよ」と口にしてしたが、部屋が片づくことはなかった。母は「言うだけでは意味がない」と繰り返し諭した。結局、誠実さは約束によってではなく、実際の行為によってこそ量られるのだと私は学んだのである。

この教訓は歴史上の偉人たちの言葉にも響いている。⁽¹⁾エイブラハム・リンカーンは、彼特有の重々しさをもってこう述べた——人間の営みの領域において、単なる約束を現実へと変えることほど責任ある行動が不可欠なものはなく、どれほど雄弁に語られた高尚な意図であっても、ゆるぎない行動を通してのみ具体的な形を得るのだ、と強調したのである。彼の言葉が示すのは、高邁な理想も行動を伴わなければ空虚に消え失せるという厳粛な真実である。

同じ真理はマハトマ・ガンジーによって体现された。⁽²⁾彼の非暴力の行進は、いかなる演説にも勝る説得力をもって、持続的な行動は正義にとって視覚における光と同じほどに欠かせぬものであり、行いに裏打ちされない言葉ほど説得力を欠くものはないのだと、否定しようのない力で示した。それにもかかわらず、そのような言葉は、まるでそれ自体で帝国を揺るがすことができるかのように、今なお日々語られているのである。まさに、何万も

の人々が沈黙のうちに歩を進める姿こそ、最も激しい演説にも勝る轟きとなった。

この原則は日常生活にも当てはまる。生徒が「もっと勉強します」と言っても、日々の努力を目にするまでは親や教師は信じない。改革を誓う指導者も、実際に施策を実行してこそ評価される。

ゆえにこの格言の知恵は今なお生きている。言葉は思考の火をともしすが、それを燃え続けさせるのは行動である。歴史が記憶するのは、雄弁に語るだけで何もせぬ者ではない。言葉を生きた真実へと変えた勇氣ある行動の人々なのである。

問題文(再掲)

(1)

Abraham Lincoln once declared, with his characteristic gravity, that nowhere in the realm of human endeavor is commitment more essential than in transforming a mere promise into reality, emphasizing that only through steadfast action can noble intentions, however eloquently expressed, take concrete form in the world.

エイブラハム・リンカーンは、彼特有の重々しさをもってこう述べた。——人間の営みの領域において、約束を現実に変えることほど責任ある行動が不可欠である場面はどこにもなく、どれほど雄弁に語られた高尚な意図であっても、ゆるぎない行動を通してのみ具体的な形を得るのだ、と強調したのである。

解説

- nowhere ... is ... more essential than ...

倒置による強調。「～ほど不可欠なものはどこにもない」。

- in transforming a mere promise into reality
動名詞句。「単なる約束を現実へと変えるにあたって」。
- emphasizing that …
分詞構文で「…と強調しながら」。前文の Lincoln's declaration を説明。
- only through steadfast action can …
強調構文に近い倒置。「ゆるぎない行動を通してのみ…できる」。
- noble intentions, however eloquently expressed
譲歩構文。「どれほど雄弁に語られた高尚な意図であっても」。

下線部(2)
(2)

His nonviolent marches, far more persuasive than any speech could ever have been, demonstrated with undeniable force that persistent action is not dispensable to justice any more than light is to vision, for nothing is less convincing than words unsupported by deeds, and yet such words are still uttered daily as if they could by themselves move empires.

彼の非暴力の行進は、いかなる演説にも勝る説得力をもってこう示した。——持続的な行動は、視覚にとっての光と同じように正義にとって不可欠であり、行いに裏打ちされない言葉ほど説得力を欠くものはないのだと。それ

にもかかわらず、そのような言葉が、まるでそれ自体で帝国を揺るがせるかのように、今なお日々語られているのである。

解説

- far more persuasive than any speech could ever have been
比較表現。「いかなる演説にも勝る説得力を持って」。
- demonstrated with undeniable force that …
「否定しようのない力で～を示した」。
- not dispensable to justice any more than light is to vision
「視覚に光が不可欠であるのと同じように、正義に行動は欠かせない」。not … any more than = 「…と同じように～でない」。
- nothing is less convincing than …
「～ほど説得力を欠くものはない」。最上級の表現による強調。
- as if they could by themselves move empires
仮定法的比喩。「まるでそれ自体で帝国を動かせるかのように」。

採点基準(各 10 点満点 ×2 = 20 点満点)

1. 内容理解 (0-4 点)
 - ・全体の意味を正確に捉えているか。誤訳・脱落がないか。
2. 構文理解 (0-3 点)
 - ・倒置構文、比較構文、強調構文、分詞構文を的確に処理しているか。
3. 日本語表現 (0-3 点)
 - ・格調高く、自然な日本語になっているか。直訳調すぎないか。

👉 評価目安

- B1(英検 2 級程度):おおまかな意味はつかめるが、構文の工夫は反映できていない。
- B2(英検準 1 級程度):倒置や比較構文を正しく処理し、自然に訳せている。
- C1(英検 1 級相当):修辞効果まで汲み取り、格調のある日本語に昇華できている。

下線部(3)

The longer I endured those endless nights of self-correction, when fatigue pressed heavily upon me and the whisper of surrender grew louder, the more ability did I develop to transform hesitation into confidence, to turn weakness into a weapon, and to elevate struggle into growth; and in that solemn moment took shape the nouns of perseverance, transformation, and victory within me as the unshakable foundation for what was yet to come.

解答(和訳)

果てしなく続く自己修正の夜を長く耐えれば耐えるほど、疲労が重くのしかかり、降参のささやきがいつそう強まったその時に、私はためらいを自信へと変え、弱さを武器へと転じ、苦闘を成長へと高める能力をいつそう育て上げることができた。そしてその厳粛な瞬間、忍耐という名詞、変化という名詞、そして勝利という名詞が私の内に形を取り、やがて訪れる未来の揺るぎない礎となったのである。

解説

- The longer ..., the more ...

○ 比較表現「～すればするほど、ますます...」。努力の長さで成長の深さの比例関係を示す。

- did I develop

○ 倒置。「私は育てたのだ」という強調。通常語順は *I developed ability*。

- when 節

○ 挿入的な状況描写。「疲労がのしかかり、降参のささやきが強まったとき」。主節を補足説明。

- took shape the nouns ...

○ 倒置構文。通常語順は *the nouns ... took shape*。

○ *in that solemn moment* を強調のため文頭に出した結果、動詞 *took shape* が前に来る。

○ 文語的・修辭的効果で「その厳粛な瞬間にこそ形を成した」と響かせている。

Q3

模範解答①(Agree 版:74 語)

Essay

The writer argues that words lose their power unless they are supported by action. I agree with this idea because action builds trust. For example, when I promised my teacher to review English every day, she did not believe me until I actually submitted a notebook filled with practice. Words can be empty, but real effort is visible and convincing. Acting shows sincerity more clearly than speaking.

日本語訳

筆者は、行動によって裏付けられなければ言

葉は力を失うと主張している。私はこの考えに賛成だ。なぜなら、行動は信頼を築くからである。たとえば、私は毎日英語を復習すると先生に約束したが、実際に練習で埋まったノートを提出するまでは信じてもらえなかった。言葉は空虚になり得るが、真の努力は目に見え、説得力がある。行動は、話すことよりもはっきりと誠実さを示すのだ。

模範解答②(Disagree 版:76 語)

Essay

The writer claims that action is more persuasive than words, but I partly disagree. Of course, actions matter, yet words also have unique power. For example, encouraging words from a parent or a coach can change how we feel and give us the courage to act. Without those words, some people may not even begin. Actions are important, but strong words can also move hearts and bring about change.

日本語訳

筆者は、行動は言葉よりも説得力があると主張しているが、私は一部反対である。もちろん、行動は大切だが、言葉にも独自の力がある。たとえば、親やコーチからの励ましの言葉は私たちの気持ちを変え、行動する勇気を与えることがある。その言葉がなければ、そもそも始めない人もいるだろう。行動は重要だが、力強い言葉もまた人の心を動かし、変化をもたらすことができる。

採点基準(16 点満点)

- 内容(Content):0-4 点

- 構成(Organization):0-4 点
- 語彙(Vocabulary):0-4 点
- 文法(Grammar):0-4 点

👉 目安

- Agree 版:14/16 点(英検 2 級~準 1 級水準、CEFR B1~B2)
- Disagree 版:15/16 点(英検準 1 級水準、CEFR B2)

自由英作文のポイント

1. 問題文をよく読む

- 指示に「要約・意見・理由」と書いてあれば、必ず 3 つを満たす。
- 語数(60-80 語、100-120 語など)は必ず守る。語数不足・超過は減点。

2. 構成をシンプルにする

基本は 3 段落構成:

- ① 要約(The writer argues that ...)
- ② 自分の意見(I agree / I disagree ...)
- ③ 理由や具体例(For example ... / In my experience ...)

3. 接続表現を活用

- 賛成の場合:because, for example, as a result
- 反対の場合:however, on the other hand, although, yet
- 話をつなぐとき:first, then, finally, in addition

4. 語彙の幅を広げる

- 単語を言い換える:important → significant, build trust → gain credibility
- よく使える抽象語:effort, sincerity, credibility, responsibility, influence

5. 文法を正しく・多様に

- 基本:主語+動詞の正確な文を書く
- 発展:比較表現、条件文、倒置、強調構文を少し入れると高評価

例:Only through action can words gain real meaning.

6. 日本語の「ことわざ」や実体験を例に

- 「有言実行」「言うは易く行うは難し」と関連づけると理解しやすい。
- 自分の経験(テスト勉強・部活動・家庭)を具体的に出すと説得力が増す。